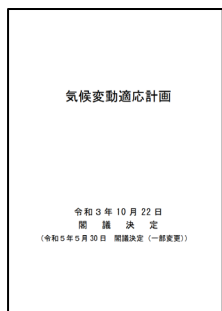
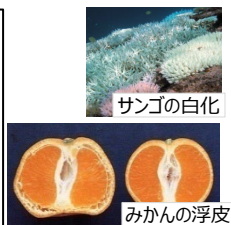


気候変動影響評価・適応の推進

- 環境省では、気候変動影響の評価及び適応計画の検討、地方自治体・事業者・国民の適応の推進、国際協力の推進など、**適応に関する基本的な政策の企画及び立案を実施。**
- 関係行政機関、気候変動適応センター、地域気候変動適応センター、地方自治体、民間事業者等、**様々な関係主体との連携体制を構築。**

<取り組み事例>

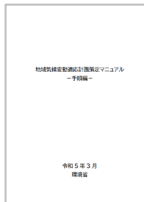
①気候変動影響の評価及び適応計画の検討



気候変動影響評価報告書
(第3次報告書をR8.2公表予定)

気候変動適応計画
(R8年度見直し予定)

②地方自治体・事業者・国民の適応の推進



自治体向けのマニュアル等

民間企業向け支援ツール等

国民向け情報発信

関係主体に応じた情報提供・発信
(気候変動適応センターと連携)

③適応策の国際協力



※早期警戒システム (EWS) : 気象災害による被害を最小化するため、予測、観測、解析、情報通信等を行うシステム



**グローバル
サウス等の
開発途上国**



NbSを活用した適応ビジネス支援
<https://uplao.org/>



途上国向けの情報・支援ツール提供

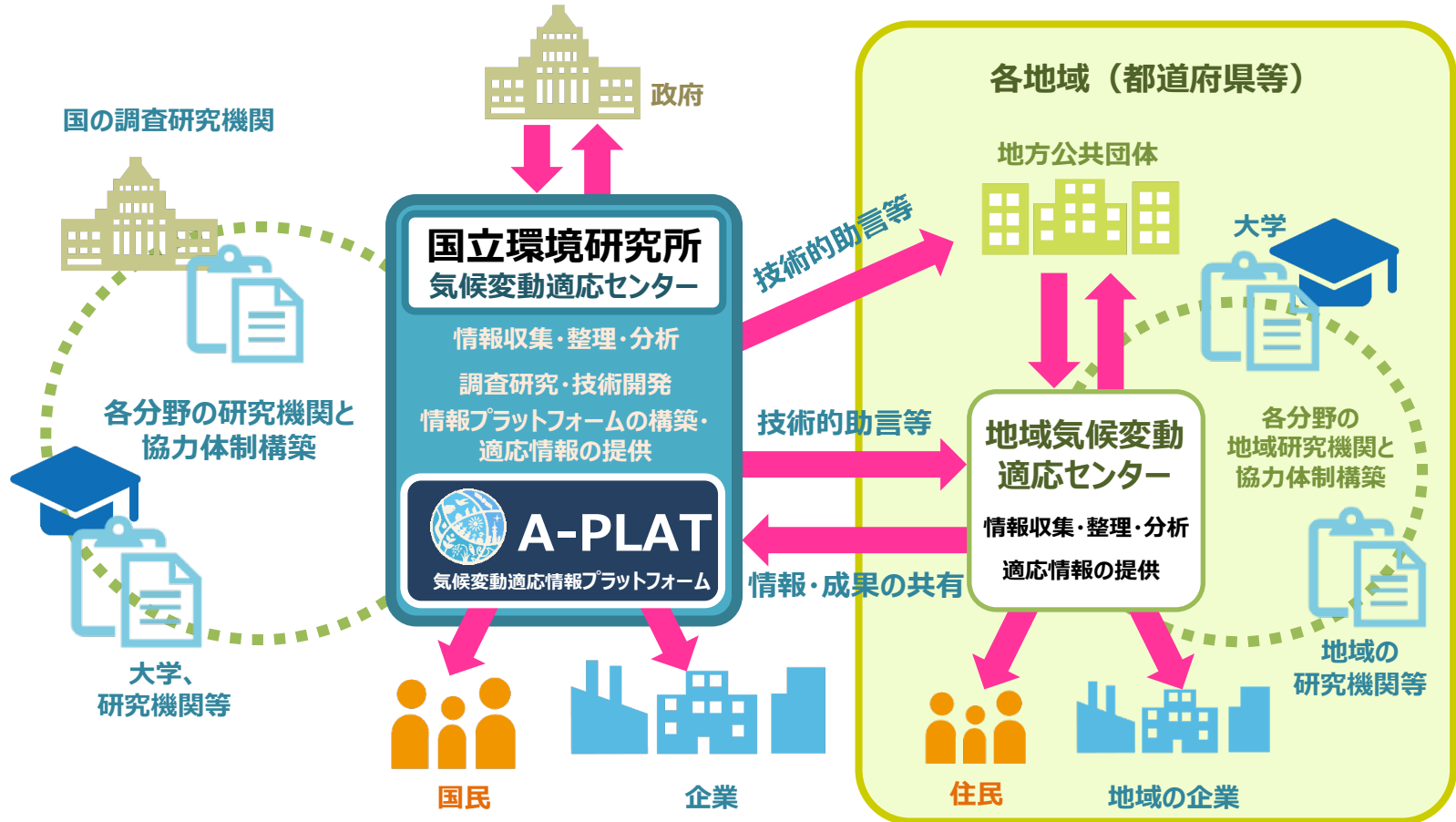
EWS、NbSをはじめとする日本の優れた適応技術等ビジネス展開支援等

途上国の適応計画策定・実施支援等

気候変動適応センター（H30.12設立）の役割

気候変動適応センター

- 各分野の研究機関と連携し、気候変動影響及び適応に関する情報を集約し、国、地方公共団体、企業、市民など各主体の取組の基盤を整備
- 地方公共団体や地域気候変動適応センターへの技術的助言や支援



第3次気候変動影響評価報告書（案）のポイント（概要）

第3次気候変動影響評価（案）においては、以下を踏まえて実施。

- ①最新かつ広範な科学的知見を反映
- ②影響の重大性の評価を2段階から3段階に細分化
- ③特に強い影響を受ける地域や対象の整理
- ④適応策及びその効果に関する知見の整理

現状から将来予測にわたって重大性・緊急性・確信度が高いなど特に優先的に対応が必要な項目※が明らかになった。

※重大性（現状、1.5～2℃上昇時、3～4℃上昇時）・緊急性・確信度の評価が全てレベル3の項目及び分野別WGで、重大性及び緊急性がレベル3かつ、新たに追加された項目又は社会的関心の高さ等を勘案して取り上げるべきとされた項目

特に優先的に対応が必要な項目の影響の概要

【農業・林業・水産業】

- 水稲：コメの収量・品質低下
- 果樹：ミカン・リンゴ等果樹の栽培適地の変化
- 農業生産基盤：大雨による農地・農業設備への被害
- 沿岸域・内水面漁場環境等：海水温の上昇によるワカメ等の不漁

【水環境・水資源】

- 水供給(地表水)：渇水の増加・農業用水等の不足

【自然生態系】

- 亜熱帯：珊瑚の白化現象の頻度増加
- 温帯・亜寒帯：海藻等の分布域の縮小・北上
- 分布・個体群の変動：生物の分布域の変化

【自然災害・沿岸域】

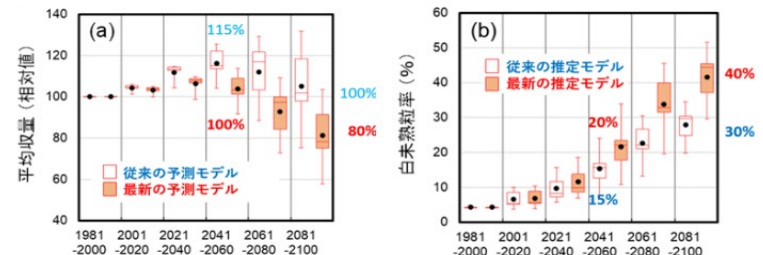
- 洪水：洪水の発生地点数の増加
- 内水：内水氾濫の可能性の増加・浸水時間の長期化
- 土石流・地すべり・土砂流出等：時間降水量の増加による土砂災害発生件数の増加

【健康】

- 暑熱：気温上昇に伴う、熱中症による救急搬送者数・死亡者数の増加や循環器系疾患等での死亡率・入院・救急搬送者数の増加

【国民生活・都市生活】

- インフラ・ライフライン等：大雨・台風等による電気・ガス・水道などのライフラインの寸断



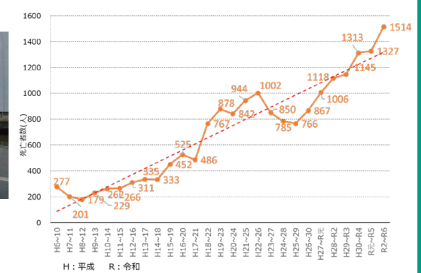
水稲の収量(a)および白未熟粒率(b)の20年毎の推移(全国平均)(RCP8.5) (Ishigooka et al., 2021)



白化した珊瑚
「サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030」
(環境省)



令和3年8月の大雨による災害
「令和4年版防災白書」
(内閣府)



熱中症による死亡者(5年移動平均)の推移
(人口動態統計から環境省作成)

気候変動適応計画改定に向けて

- 令和8年2月に第3次気候変動影響評価報告書を公表予定。これを踏まえ、気候変動適応計画を令和8年度に改定予定。
- 気候変動適応法に基づいた施行後5年の施行状況に関する検討で、以下のような今後の展開が示された。
 - 適応策は、気候変動に対する強靱な社会の実現だけでなく、それぞれの関係者の抱える課題を同時に解決し、またウェルビーイングを向上させるポテンシャルがある。
 - 適応によるベネフィットを見える化するなどにより、関係者が適応策に取り組むことがそれぞれのウェルビーイング向上につながることを理解し、気候変動を自分事としてとらえ、行動に移していくことが重要

